

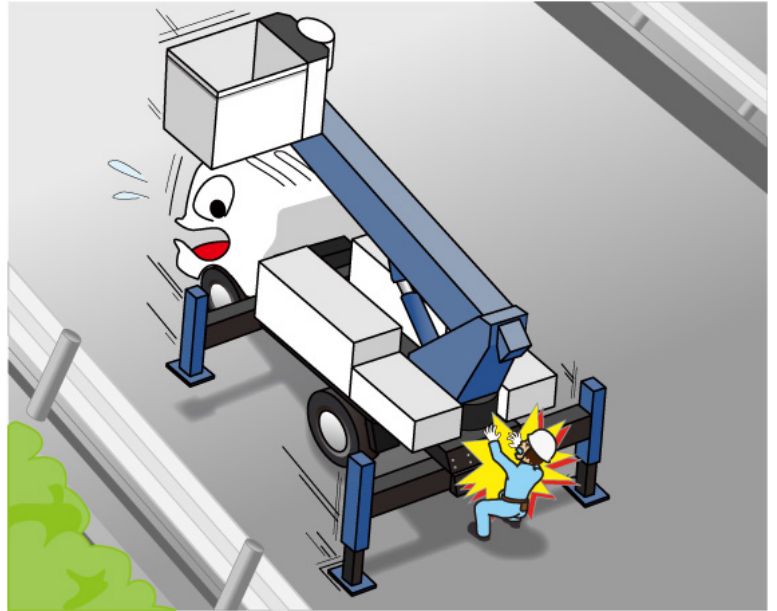
事故事例

傾斜地でのジャッキアップによる車両逸走事故

トラッククレーン・高所作業車・目的別製品

事故発生状況

坂道に前上がりで停車し、ジャッキアップ（アウトリガジャッキの張出し操作）をしていたところ、車両が後方に逸走した。
その時、後方で操作をしていた作業員が巻き込まれた。



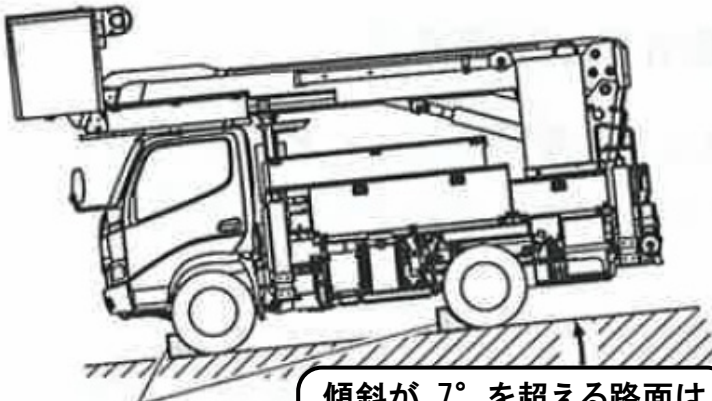
原因

ジャッキアップの操作手順を間違えた。
※傾斜地でパーキングブレーキのある後輪を先に上げたため車両が逸走した。

対策

傾斜地でのアウトリガ設置は操作方法を順守する

参照図：AT-146TE-3



歯止め

傾斜が 7° を超える路面は水平設置時にタイヤを浮かせる事が出来なくなります。

- ・車両は前下がりには駐車し、パーキングブレーキを掛け、すべてのタイヤの坂下側に歯止めを密着させてください。
- ・アウトリガの設置は前側→後側の順に（格納時は逆の順番）行ってください。

（前輪が接地した状態で、パーキングブレーキが効いている後輪が、ジャッキアップにて浮いた状態になると、車両が逸走します。）